

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス konoki有明		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員が子どものありのままを大切にしながら成長に繋がるよう支援している。	子どもとの何気ないやりとりや会話を大切にしている。	子どもの性格やその日のコンディションに沿った質の良い支援を行う。
2	様々なレクリエーションができる広い空間がある。	1階では、広い空間で伸び伸び運動ができています。 2階では、落ち着いて活動できるように意識して過ごしている。	新しいレクリエーションを考え、手先のトレーニングを取り入れたり身体を動かしたりすることができる機会を増やしていく。
3	職員間での情報共有がしやすい環境である。	ミーティングや会話の中で情報共有をし、職員間で支え合える関係性がある。	支援の中での気付きや困り事について全員で意見を出し合い、それぞれの支援力の強化に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもが生活の中でメリハリをもって行動する力。	1階は動、2階は静の定着が安定していない時がある。	SSTや生活の中で繰り返し伝えていく。 視覚的情報を活用して理解して行動できるようにする。
2	子ども理解、支援力。	子どもの特性の理解、支援を実行する力が弱い部分がある。	職員のスキルを共有し、自分のスキルに取り入れる。 一つひとつの意図を考えて支援をしていく。
3	安全管理の徹底。	子どもの行動や環境からその後の状況を予測しきれていないことがある。	危険予測ができるよう意識して状況を把握する。 怪我や事故に繋がらないよう職員間で伝え合い、動きや環境を整えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	konoki有明				公表日	令和8年 3月 5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容に合わせて1階、2階に分かれて活動を行うことができる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			日によって職員配置の差がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚的情報を多く取り入れ、子どもが生活する中で理解しやすい環境になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃により、清潔な環境を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて使用できる別室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティングや支援を職員間で共有することにより、PDCAサイクルの実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者の意見を職員間で共有し、改善につなげられるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングや会話の中で、意見を伝え合い業務改善に繋げられるよう心掛けている。	事業所内のみでなく、他事業所や上司との意見交換や情報共有を更に増やすことで、より考え方の幅が広がると思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月研修を行っている。	実際に他事業所の様子を見たり、交流を行った研修や支援により特化した研修を取り入れても良いのではないかと。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		様々な経験に繋がるようなプログラムの作成をし、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		子どもの様子や保護者のニーズを基に作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全員で子どもの様子や課題を共有し、作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で共有し、日々の支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		子どもの行動・状況・言動の意図を日々伝え合い、共有している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		新しいレクリエーションや既存のレクリエーションの向上などを職員間で話し合い、作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子どもの様子に合わせて内容や新しいプログラムの発案を行っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	個別活動、集団活動の両方を一日のスケジュールに取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	毎日ミーティングで、活動内容や支援方法、意図などについて共有し、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	活動の良かった点・改善点・支援方法について共有し、翌日の支援に繋げる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	日々の様子を記録にし、共有することで質の良い支援への改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	定期的なモニタリングにより、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	支援計画はもちろん、一日の流れやレクリエーションに大きく反映している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	自ら発信する力を育てている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	子どもの状況を理解した上で参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	学校との情報共有により、連携した支援を行えるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	担任との会話での情報共有。下校時間は保護者から共有してもらう学校もある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	就学前の様子を書面にて共有してくれている。	アフターケア(現在の様子)を見てもらいながら情報共有を行うのも良いのではないかなと思う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5		
保護者への	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	送迎時や面談時に情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	見学时や面談時に意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	面談時に説明を行い、保護者と一緒に確認し、同意を得る。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	送迎時や面談時に保護者と話をする中で情報共有や支援方法の共有を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	夏祭りで保護者同士の関わりがある。	仕事などで参加が難しい家庭もあると思うが、行事等での関わりで悩みの共有も出来るのではないだろうか。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		丁寧に話し、説明や対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ブログやお便りで発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		丁寧に寄り添いながら保護者と連絡を取り合っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		事業所での避難訓練や消防署で消火器体験を実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に避難訓練を実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前に保護者に確認し、食事の際や調理レクでの配慮の実施を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット・事故報告書の作成、共有を行い、再発防止に努め一人ひとりの意識を高めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修により虐待防止への知識を身に付けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	konoki有明					公表日	令和8年 3月 5日	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	回収数	29
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3	2	3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	6	0	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1	0	2		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	3	2	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	0	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	2	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	10	4	10		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	7	7	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	5	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3	4	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	3	1	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	6	9		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	4	1	4	すぐに対応（周知）して下さるのですが大まかですので「今こんな感じ」というのを共有してくれたら助かります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	4	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	2	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	2	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	4	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	3	0	12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	3	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	5	2	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	2	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3	2	0	毎回とても楽しく通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	4	0	0	いつもありがとうございます。	